



宝木中学校だより

たくましく さとく あかるく いきいきと

令和2年1月号
発行責任者 手塚宏行

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

旧年中は文化祭や体育祭など、いろいろな行事や普段の活動において生徒の素晴らしい活躍を目の前にし、たくさんの感銘を受けた一年でありました。

さて、これから3か月は、3年生にとっては自分の進路を決定する大切な時期であり、1、2年生においては、進級を前にして基礎をしっかりと固め、新たな学年に備える時期となります。

新年を迎え、ますます、生徒一人一人が輝けるよう指導や支援をしていきたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



西が岡保育園での保育実習（3年）

茶道体験学習

今年度も、12月5日の3年3組、4組を皮切りに、鈴木マサ先生他4～5名の師範を指導者に招いた茶道体験学習が行われました。生徒たちは、師範の方々の教えをよく聞き、一つ一つの動きの深い意味を理解し、かみしめながら実践しました。また、「結構なお手前で」と心を込めてはつきりと伝えるなど、礼儀正しく真摯に行う生徒の姿に対し、師範の方々も感心しておりました。

今年はいよいよ東京オリンピック。諸外国の人たちは日本独自の文化に注目しています。「おもてなし」の心を理解するとともに今後の生活にも生かし、世界に日本文化の考え方を広められる日本人になって欲しいと思っています。



主な大会結果等

大会名等	結果・氏名			
県中学校総合体育大会 スピードスケートの部 (全国大会に出場決定)	3年	1500m	1位	小山 美希
	3年	3000m	1位	小山 美希
	3年	総合	1位	小山 美希
		500m	1位	木村 明揮
県中学1年生ソフトテニス大会	1年	男子個人	5位	小野遥斗・倉林 楓
宇河地区中学1年生 バスケットボール大会	1年	男子	準優勝	
中学生の税についての作文	2年	優秀賞	時庭 颯太	
断郊協歩大会 俳句・川柳コンクール 優秀賞	1年	寒いけど	はずむ会話が	背中押す 保坂 美空里
	2年	身にしみる	寒さと人の	あたたかさ 野口 実莉
	3年	歩いた分	話に花咲く	秋の道 会田 実右

◇◇2月の主な行事予定◇◇

4日(火) 立志式(2年)	17日(月) 3年生を送る会準備
5日(水) 全校朝会	18日(火) 3年生を送る会
6日(水) 県立高特色選抜(～7日)	20日(木) 専門委員会⑪
学校給食・保健委員会	26日(水) 表彰朝会
13日(木) 1、2年期末テスト、特色選抜内定	

※学校だよりは、個人情報保護に対応し、個人名や写真は本人等の許諾を得て発行しています。

※学校だより(カラー版)は、ホームページに掲載しています。「宇都宮市立宝木中学校」で検索してください。

自己肯定感を育む

本校では、ここ数年間学校目標の中心に自己肯定感の向上を挙げて取り組んで参りました。その結果、今年度3年生の全国学力・学習状況調査では、肯定的な回答が82.3%となり、ついに平均で国（9ポイント）、県（2ポイント）を超えることができました。以下は昨年と同様の話ですが、大切なことだけに再掲したいと思います。

自己肯定感とは、何を指すのでしょうか。一言でいえば、
「自分は生きているだけで価値がある」「誰かに必要とされている」
「自分は大切な存在なんだ」「自分は愛されている」

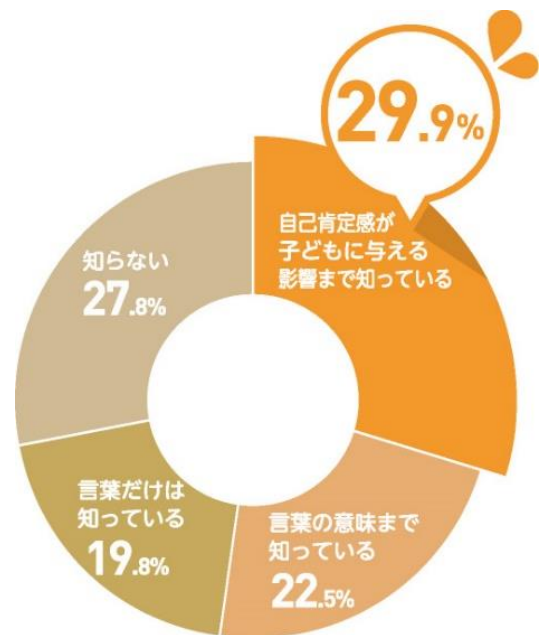
と肯定できる前向きな感情です。これが高い子どもは、
何事にも挑戦していく強い心「折れない心」を持っています。
よりやさしく言えば、叱られた時の反応で次のようになります。

(1) 自己肯定感が高い人の特徴

- あまり落ち込まない
- 自分のミスを素直に認める
- より自分を高めるための意見として歓迎する

(2) 自己肯定感が低い人の陥りやすい傾向

- 必要以上に落ち込む
- 自分はダメな人間だと感じる（拡大解釈）
- 「絶対にミスはダメだ」と自分を追い込む（完ぺき主義）
- もしかして嫌われているのではと思う（疑いや不安）
- 逆ギレする（拒否反応）



『「ほめ写」って知ってる？子どもの“自己肯定感”を高くする方法』より

では、自己肯定感が高い子どもに育てるためにはどうしたらよいのでしょうか。

次のようなかわりをするとう格段に向上します。

○子どもの話を出来るだけ目や表情を見ながら聞く。また子どもの言い分をまずはよく聞く。

（お父さんが自分の意見を言いやすい雰囲気や環境をつくる）

「悲しいよね」「悔しかったんだね」

「それはお母さんにとっても嬉しいわ！」

など適時共感することも心がけましょう。

○「頑張ったね」「よくやったね」等の認める、褒める言葉を使う。
（誰かと比べたマイナスの発言は避ける。）

子どもの「今」を認め、それに至るまでの努力した過程や過去の本人の状況と比べて、褒めてあげましょう。

○子どもが自分で選択する機会を増やす。

○ダメな事をしたら、子どもの将来の事を考えて愛情を持って叱る。

○社会や家庭、学校でのルールを守ることの大切さを教える。

そして、挑戦心、達成感、規範意識等もバランスよく育む。

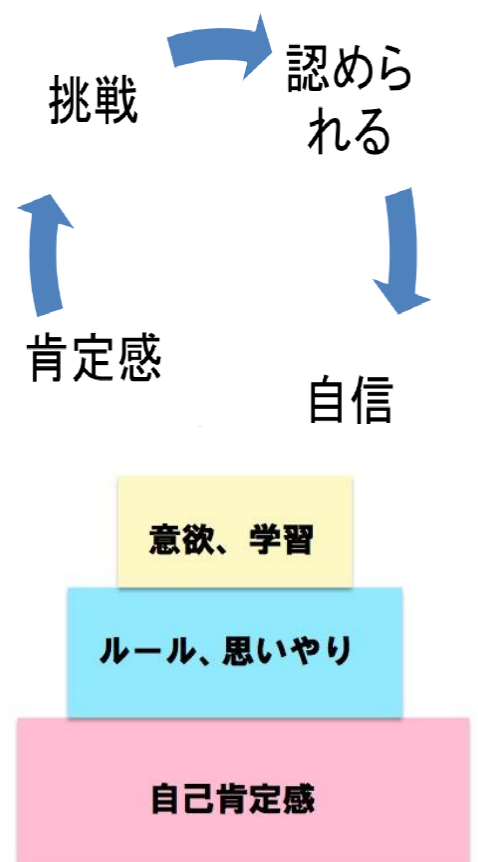
「また頑張ればいいよ。次はきっと上手くいくよ。」

「挑戦したあなたは立派ね。」

と言って、子どものガッカリした気持ちを癒す存在になってください。
そうすることで、子どもはまた意欲を持って挑戦するでしょう。

また、我々大人自身も、自らの自己肯定感を高めていくことも子どもにいい影響を与えることができます。このようなかかわりをしていくと、右の図のように、意欲、学習が高まる土台ができると言われています。

以上のような基本的な考えのもと、本校では、今後とも子どもの自己肯定感などを育てていきたいと思しますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。



体罰等に係る相談について

管理職が体罰等に係る相談機会（第2回）を、1月20（月）、21（火）日の2日間設けましたので、該当することなどありましたら、副校長、校長まで、お電話をくださいますようお願い致します。

（TEL 621-3959）